

## 令和3年度 全国公立学校教頭会 ブロック大会報告

I 大会名称 第39回四国地区小中学校教頭会研究大会 愛媛大会

II 開催期日 令和3年11月18日(木)

III 日程・大会の概要

(オンラインによる全体会[開会式・記念講演・閉会式]と書面発表による分科会提言のハイブリッド大会)

1 日程(全体会)

開会式 14:00~14:20 記念講演・質疑応答 14:30~16:00 閉会式 16:00~16:15

2 概要

(1) 研究主題 未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり

～夢と志を持ち、絆を深めながら可能性に挑戦する子供の育成～

(2) 主催 四国地区小中学校教頭会・愛媛県小中学校教頭会

(3) 後援 愛媛県教育委員会・香川県教育委員会・徳島県教育委員会・高知県教育委員会  
愛媛県市町教育委員会連合会・松山市・松山市教育委員会・愛媛県小中学校校長会  
愛媛県教育研究協議会・公益財団法人愛媛県教育会・愛媛県PTA連合会  
松山市小中学校PTA連合会・公益財団法人日本教育公務員弘済会愛媛支部  
公益社団法人日本教育会・全国公立学校教頭会

(4) 開会式

① 開式の言葉

② 挨拶

(四国地区小中学校教頭会会長・全国公立学校教頭会会長)

③ 閉式の言葉

(5) 記念講演 演題 『人を動かすための働きかけ』

講師 二宮 清純 氏

(スポーツジャーナリスト 株式会社スポーツコミュニケーションズ代表取締役)



(6) 閉会式

① 開式の言葉

② 挨拶(四国地区小中学校教頭会副会長)

③ 閉式の言葉

(7) 分科会(書面発表による分科会提言)

① 教育課程に関する課題 ② 子どもの発達に関する課題 ③ 教育環境整備に関する課題

④ 組織・運営に関する課題 ⑤ 教職員の専門性に関する課題

IV 大会に参加しての感想等

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により書面発表のみであったが、今年度は新たな試みを模索しながら大会の計画を行った。その結果、感染状況の影響を受けにくいオンライン開催を軸に、書面発表とのハイブリッド方式で開催することとなった。これは、地元の配信業者と講師の二宮清純氏の協力が大きい。講演中はチャットでの質問を受け付け、双方向性も維持しながらの大会となった。大会後のアンケートでは、感染症対策が求められる現状では、オンライン形式でよいという意見が多く得られたが、直接情報交換することができる参集型がよいという意見もあった。記念講演については、スポーツに関わるリーダーのエピソードを基にして、人を動かすことや人を育てることについて話が聞けたので、教頭という立場から大変参考になったという感想が大多数だった。魅力ある学校を目指すためにリーダーに必要な資質、能力について改めて考えるきっかけとなった。

分科会については、各分科会で小中学校1校ずつ計12校が、実践事例を基に書面による提言を行った。コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入、若手教員の育成、防災教育、ICT活用等、今日的課題について貴重な提言がなされていた。各学校で参考にすることができる内容であった。

愛媛県小中学校教頭会HP(<https://shochukyoutou.esnet.ed.jp/>)に、各分科会の提言の概要を掲載して、更なる情報発信にも努めている。